



# 企業で働くひとの助け合い

## 働きながらできることを考えよう

SNSでつながる  
防災アクション  
ガイド



災害が発生したら、個人や行政だけでは対応しきれません。

企業で働くひとたちは、組織の力を活かしつつ、自分にできる支援をしていきましょう。

### 「働くひと防災」

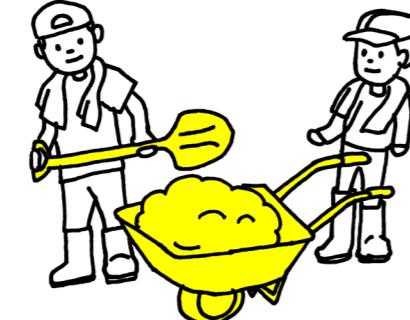
企業のサービスなども活かした一人ひとりができる防災・支援活動を、私たちは「働くひと防災」と呼んでいます。結果的に企業の活動や、地域、社会全体の助けになることを目指します。



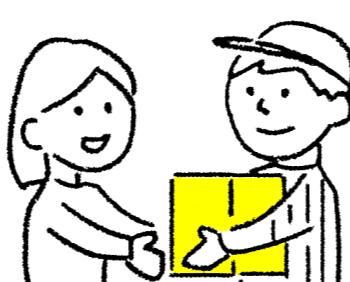
会社の情報や  
モノを提供する



復旧の  
作業を手伝う

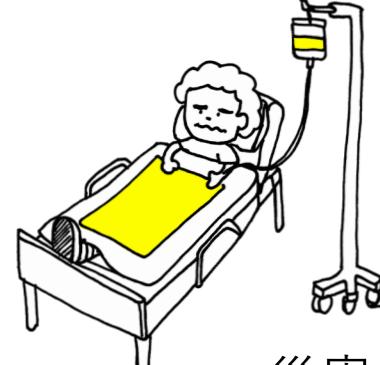


会社のサービスを  
活用して支援

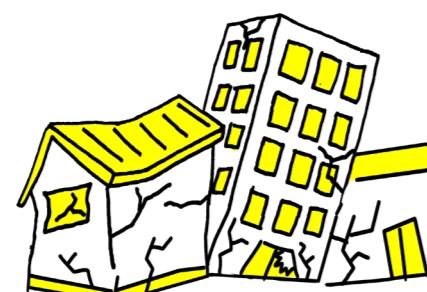


### 災害で企業に起きることとその対応

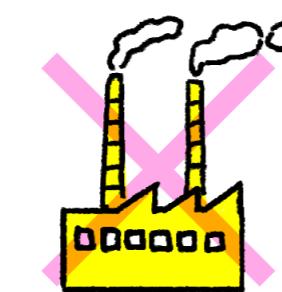
従業員の  
怪我や犠牲



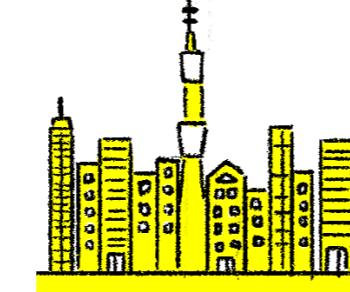
社屋や工場などの  
建物が壊れる



事業が  
ストップする



その後の企業  
活動への影響



災害が起きると企業活動に様々な問題が発生しますが

その対応は企業が中心に行われます。まずはその活動に参加しましょう。

### 自分ができることを考えよう

自分の立場や強みを活かして、無理なく自分でできる防災に取り組みましょう。企業の仲間や企業で使えるもの、サービスなども活かすことで、より効果的な防災につながります。

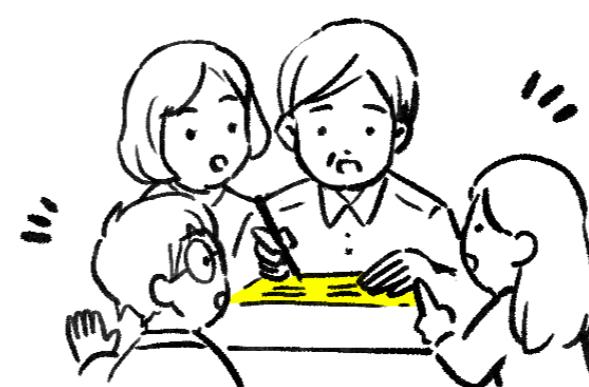
地域のネットワークが  
あるひとは地域の支援を



情報発信が得意なひとは  
必要な情報の発信を



周りで取り組みを  
しているひとを手伝う

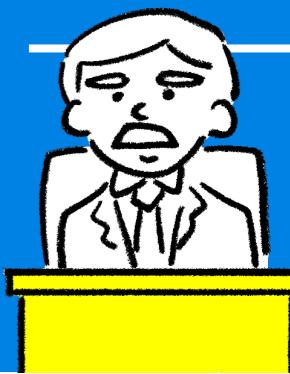


研究者や専門家など  
知識があるひとは情報の提供を



### 支援しやすい環境づくりに協力しよう

社会的な立場のあるひと、チームを管理するひとなど、部下がいるひとは従業員などが自発的に動けるように環境を整えよう。





# 働くひと防災

# 企業で働くひとの助け合い 正確な情報を把握して発信しよう

SNSでつながる  
防災アクション  
**ガイド**



SNSなども駆使しながら、正確な情報の収集に努めましょう。

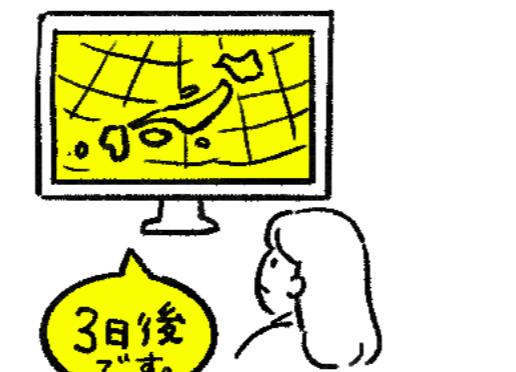
状況に応じて、得た情報を近隣や家族を含め、周りにいる様々なひとたちにシェアしましょう。

## 正確な情報を収集しよう

身の安全を確保し落ち着いたら、ニュース、SNS  
会社など様々な場所から多角的に情報を収集しましょう

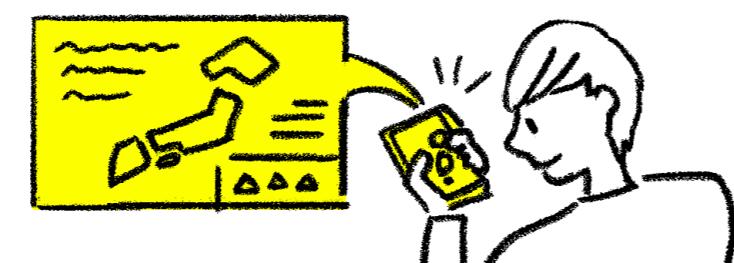
### □ 企業や業界団体の情報

会社の被災状況や支援活動の情報など



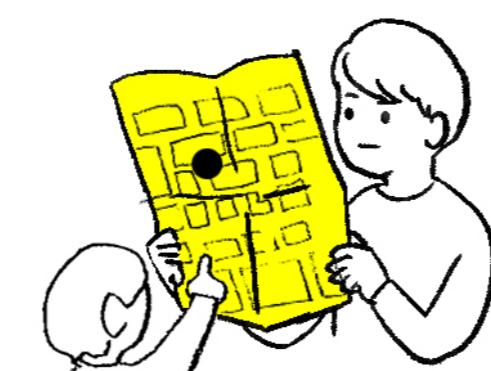
### □ 気象庁の防災情報

警報の発表状況、予測情報など



### □ NHKなど報道機関のニュース

最新の正確な報道情報



### □ 内閣府防災や官邸などの情報

政府の支援制度の適用状況など



### □ 市区町村の情報

避難情報・支援情報など

## 情報収集時のポイント

### 内容を冷静に確認

災害時はデマが出回ることもあるため  
正確な情報かどうかを冷静に判断しよう。



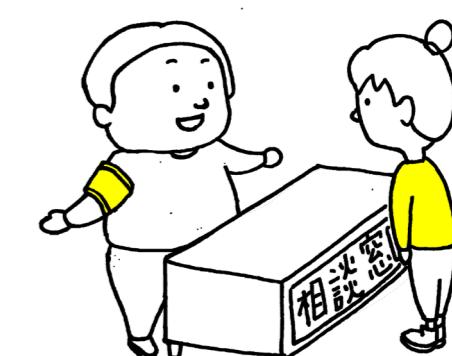
### 職場の情報源を把握

会社のどの部署の誰が情報をまとめているか確認し  
スムーズに情報を得られるようにしよう。



### 地域の情報も入手

市区町村の災害対策本部から、地域の被災状況や  
支援に関する情報などを入手しよう。



## 把握した情報を積極的に発信しよう

### 素早く情報共有を

災害時は重要と思われる  
情報はすぐ共有し  
対応できる体制を整えよう。



### 家族にも情報を伝えよう

会社に一時待機するときも、  
随時家族と連絡して  
情報を共有し合おう。





# 企業で働くひとの助け合い

## 「不要不急」を考えて安全確保を

SNSでつながる  
防災アクション  
**ガイド**



災害時には「不要不急の外出を控える」よう注意喚起されます。

そうでない場合でも、何が不要不急か事前に議論し、災害時に対応できるようにしておきましょう。

### 不要不急とは

危険な状況では「不要不急の外出を控える」よう注意喚起されます。「不要不急」は必要ない仕事という意味ではありません。自分や企業の同僚の安全を守るために、働き方について考えましょう。



### 不要不急なタイミングを知ろう

気象庁・国土交通省などから「不要不急の外出を控える」と聞いたらすぐにストップ。そうでない場合も気象情報を確認して自分のいる地域が危険がありそうなら、活動が不要不急か判断して行動しよう。

#### 不要不急の判断の目安

- 安全な場所からオンラインにできないか
- 後日に延期できないか
- 自分や関係者の命・安全を守れるか
- 交通がマヒしても安全確保できるか
- 移動中に被災する可能性はないか
- 災害対応の業種より優先されるか

### 何が不要不急か事前に考えよう

自分の働く企業にとって

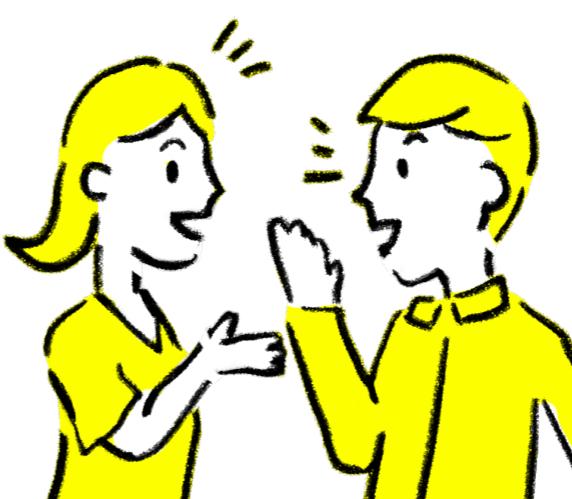
何が不要不急なのかを事前に話し合いましょう



医療、災害対応など、やむを得ず対応しなければならない場合を除き  
多くは不要不急な活動です。

### 周りと不要不急なことを 確認し合おう

積極的に関係各所への不要不急なことを伝え、安全確保できるようにしよう。従業員の命と安全を危険にさらすのは企業として最大の損失です。



### 車での出勤が 危険な場合も

車での移動中に被災する場合があります。無理に出社したりせざりせずに、できる限りリモートワークに切り替えるか、気軽に休める雰囲気づくりを。





# 企業で働くひとの助け合い

## 企業の強みを活かして活動しよう

SNSでつながる  
防災アクション  
**ガイド**



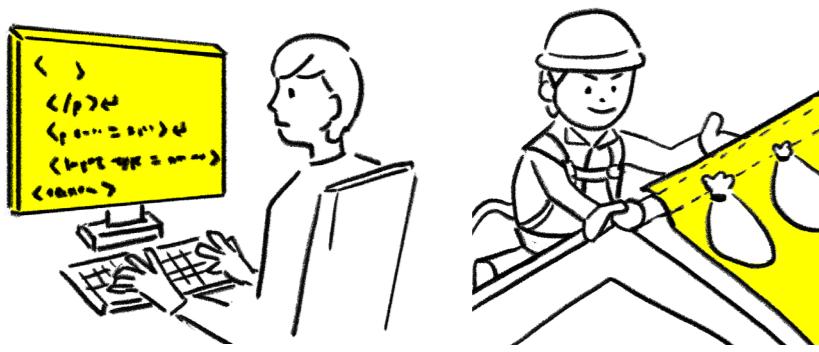
働くひとのマンパワー やスキル、それによる情報などのサービス、企業の空間、モノなどを活用して、地域や社会に対して効果的な支援活動をしましょう。

### 企業のリソースを活用して支援活動をしよう

自分の立場やスキル、企業の特性などを考慮して、どのような支援活動ができるか考えましょう

#### ひと、スキル、サービス

- 復旧や復興の活動への参加
- スキルを活かしたサービスの提供  
ウェブサービスや家財の修理など



プログラミング

物の修理

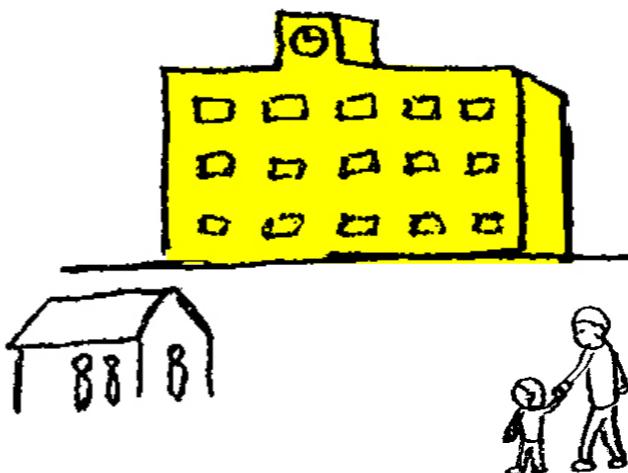
#### 情 報

- 避難所としての場所の提供も
- 支援に活かせる企業情報を発信  
店舗の在庫情報など



#### 場 所・空 間

- トイレなどの提供
- 帰宅困難者の受け入れ
- 避難所としての場所の提供も



#### モ ノ

- 食糧や物資の提供
- 支援に活かせる自社商品の提供
- スマホやEVの充電用に電気の提供

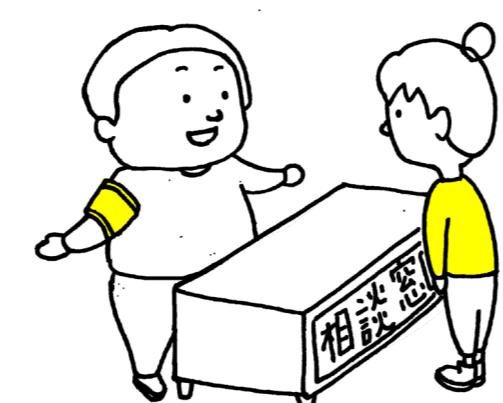


EVへの充電

スマホなどの充電

### 自治体やNPOにも共有・相談しよう

企業で支援をはじめる際は、円滑に支援が行き届くよう  
に自治体や災害支援系のNPOなどにも相談しよう。  
災害前に関係ができていると、より効果的です。



### 備蓄を余分に確保

従業員以外に、帰宅困難者や地域に対する  
備蓄も用意しておこう。例えば、従業員分の  
備蓄に地域のための1割を余分に備蓄する  
と、地域への支援にもつながります。

